

横浜市立黒須田小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな指導を心掛け、子どもたちが向上心をもって生活できる指導を行っています。 個の学習状況を把握し指導に生かすことで、一人ひとりが学ぶ喜びを感じられる指導に向けて努力しています。 地域の教育資源を活かし、「横浜の時間」を中心に問題解決の能力やコミュニケーション力を育てています。 教職員間の連携や相互啓発を促進し、学校教育目標実現に向けて活力ある組織的な取組を行っています。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・目標標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	子どもの体育、健康面の課題を明確にし、教育活動全体を通して健やかでたくましく、しなやかな体を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業において一定以上の運動量を確保し、生涯にわたって、健康で安全な生活を営むための基礎的な力を身に付ける。 ○運動量が落ちやすい冬の時期を中心に縄跳びの活動を取り入れ、体力向上1校1実践運動の改善を図る。 ○体力テストの結果を保護者と共有し、家庭と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	体育部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・市の平均に比べて朝食の摂取率は高いが、睡眠時間を十分に確保できていない様子が見られる。
- ・地域には大きな公園もあり、外遊びができる環境には比較的恵まれているが、塾などの習い事に通っている子どもが多く、体を動かす習慣が身につけていないとは言えない。体力運動能力テストの結果にも、年間を通じて、よく体を動かしている児童と、そうでない児童との二極化が顕著に表れている。
- ・保健室の利用状況（傷病の状況）から見ると、打撲が多い。校庭の狭さだけでなく、広い廊下での過ごし方について指導を継続している。

(2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）

- ・男子の体格は概ね市の平均だが、女子は多くの学年で身長、体重ともに市平均を下回っている。
- ・新体力テストの結果をみると、握力と立ち幅跳びにおいて、市の平均を下回る学年が多い。
- ・ボール投げについては児童間格差が大きく、運動経験の差がかなり影響しているものと思われる。
- ・握力、長座体前屈で市や全国平均よりも低い数値が見られるが、学年が上がるにつれて上昇傾向にある。全体的に体がかたい児童、姿勢がくずれやすい児童が多いことから、様々な場面での継続的な指導が必要である。
- ・上体おこしや反復横とび、50m走やシャトルランで市や全国平均よりも高い数値が見られるのは、陸上運動や体づくり運動の授業成果とも読み取れる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・日々の体育授業の工夫と充実
→運動量の確保と運動する楽しさを味わう
ことのできる授業の工夫
- ・運動場やアリーナの環境整備
- ・学級配当ボールや縄などの備品整備
- ・ストレッチ運動の継続

《他教科での取組》

- ・給食を通しての食教育の推進（6年バイキング給食）
- ・地域の畑(農家)との交流
→生活科、黒トラ活動を通して
- ・栄養教諭による食育授業（宿泊前の食事前指導）

道徳・特活・総合

- ・スポーツ委員会で体育的な集会を企画し、全校で実施している。
- ・運動会では、日常の体育学習の成果を発表しあい、健康や運動に対する意欲や関心を高めている。
- ・健康安全委員会では、手洗い石鹸の補充を欠かさず行い、
手洗いうがいの励行を呼びかけている。
- ・栄養給食委員会では、給食週間を中心に「食」への関心や理解を深める取り組みをしている。
- ・4年生以上の宿泊行事前に、食事に関する事前授業を行い、自分の健康を考えたバランスの良い食事のとり方

課外活動

- ・学校保健委員会（年2回開催）で「心の健康」をテーマに話し合っている。
- ・夏季休業中に、1週間程度の夏季特別水泳教室を実施し、泳力の向上を図っている。
- ・運動会や体育大会、球技交流会前に2週間程度早朝練習を実施し、技能の向上を図っている。

平成30年度 黒須田小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 運動機会の拡充

《ねらい》 集会を通して外遊びのきっかけづくりを行い、クラス単位での運動機会の拡充につなげる。

《内容》 ○体育的行事を体育委員会（児童・生徒）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

（行事例）前期：運動会、学年別クラス対抗ドッジボール大会

後期：全校なわとび大会～学年目標記録に挑戦しよう～

○青葉区体育協会と連携し、新しいスポーツに親しんだり、普段できないスポーツに挑戦したりして、運動に親しむ。

《指標》 ①行事や集会後の振り返り 「事前取組」「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から自己の運動時間を検証する。